

# お子様のその症状、診療所で診察できます

診療所でも診てくれるの？



「うちの子、風邪かしら——」  
「転んで、膝をケガしてしまった——」  
お子様のその症状、実は多くのケースが診療所に対応可能なのです。  
本特集では、町立金山診療所の小児医療体制について紹介します。

町立金山診療所（※以下、診療所）に小児科があることを皆さんはご存知ですか。もしかすると、小児を診てもらえるイメージがない、あるいは診てもらいながらも一般的な風邪症状やケガなどには、十分対応しています。お薬も調剤薬局と連携しながら、一次診療において多く処方される品目はカバーしています。

また、小児期に予防医療の観点から重要なのが予防接種。もちろん診療所の小児科でも、定期予防接種を受け付けています。県立新庄病院や町内外の医療機関とほとんど同じ内容で接種することが可能なのです。

お子様の急な症状や定期的な予防接種など、特に冬期間の足元が悪い季節は、できれば近くの医療機関を受診したいと思っただことはありませんか。身近で頼れる小児科を目指して、本特集では診療所小児医療体制を、アンケート調査の結果を含めた、皆さんの声とともに紹介します。

## 診療所に受診できることを知らない方も

アンケート結果から、圧倒的に新庄市の開業医で予防接種を受けている町内のお子様が多いことが明らかになりました（Q1）。これはQ2のとおり、約半数の方が小児専門医での接種を希望しているため。注目したのは9%の方が、町内で予防接種ができることを知らなかったという事実です。実はこの方々の85%が町内の医療機関で予防接種を受けたいと答えているのです。同様に体調を崩した際の受診先として、新庄市の開業医を受診することが多いことも明らかに（Q3）。60%近くの方が小児専門医への受診を希望している一方、診療所の小児医療に対する不満を理由にする声も多く寄せられました。

例えば、「予防接種当日の予約が出来ず不便」というご意見。薬剤には使用期限があるため、あらかじめ準備しておくことが現状では困難ですが、3日前までにご連絡をいただければ診療所でも予防接種をさせていた

## 現状を知るために実施したアンケート。その結果をひも解きながら、診療所の小児医療体制について 瀬尾副所長（兼）外科医長に聞きました。



町立金山診療所 副所長（兼）外科医長 瀬尾 恭一

「町内の方がわざわざ新庄まで足を伸ばして、時間をかけて予防接種を受けている——」。

最近、そのような噂をよく耳にしていました。一次予防すら診療所に頼られない事実が本当にあるのか、あるとすればその原因はどこにあるのかを調査するため、アンケートを実施しました。

認定こども園めぐたまにお子様をもつ保護者の皆さんにおかれましては、お忙しいところご協力いただき感謝いたします。

結果として、受付時間の短さやイメージの悪さなどが浮き彫りになりました。過去には、予防接種や小児診療を断っていたという実態も想像され、これが診療所から足が遠ざかっていった大きな理由と考えられます。

一方で、診療所に小児科があることすら知らなかったという方も。結果を受けとめ、今できることを周知しながら、早急に関点を改善し、ひらけた診療所を目指します。

## 風邪症状やケガなどには幅広く対応

もしかすると診療所で小児を診てもらえるイメージがないかもしれません。確かに小児科専門医はおりませんが、一般的な風邪症状やケガなどには幅広く対応しています。必要に応じて専門医への紹介をさせていただくこともあります。ほとんどのケースで診療所での対応が可能です。情報不足となっている部分については、広報紙以外にも積極的に発信していこうと考えています。ぜひ体調面で不安なことがあれば、いつでも診療所の医師にご相談ください。



《 Interview ② 》

町内に医療機関があることでとても安心



阿部 里咲さん (羽場)  
いちかぜ 老風くん

広報かねやまで金山診療所にも小児科があることを知りました。半年前に2歳になる息子が風邪をこじらせ、初めて診療所を受診。初めての受診で不安な面もありましたが、親身になって子どもにも優しく接して、とても丁寧に診ていただきました。診断もその日限りではなく、普段気をつけるべきことまで、詳しく教えていただきました。

町内に頼れる医療機関があること

はとても安心できます。子どもは、何かとすぐに受診することが多いためなおさら。冬期間はわざわざ新庄まで行かなくて済むので、本当に助かりました。朝のうちに予約をすれば、待ち時間もあまり無いように感じます。保育園が終わってからでも行けるので、夕診も便利です。

6カ月になる双子の弟たちも含めて、これからも診療所にはお世話になります。

診療所は小児科も受診できることをしてほしい

《 Interview ① 》



後藤 久美さん (安沢)  
瑠湖ちゃん

1年ほど前、娘がケガをした際、金山診療所にも外科の先生がいると聞き、受診したのがきっかけでした。顔のケガということもあり、動揺して不安な気持ちで受診。しかし、子どもにも私にもわかりやすく説明してくださり、とても安心できました。

小児科も診てもらえることを知り、今ではケガだけでなく、風邪をこじらせたり、子どもの体調が悪い時も受診しています。

やはり子どもの辛さを理解してくれて、親の不安も和らぎ、安心感につながります。自分の住む町に、子ども達の健康を見守ってくれるかかりつけの診療所があることは、とても心強いこと。こんなに丁寧に子どもを診察してくれることを知らないお母さんはたくさんいると思います。町内でも受診できることを知れば、いざという時に頼れる存在になってくれるはずですよ。

こちらのワクチンは診療所でも接種することができます。ご希望の方は3日前までにお電話でご相談ください。

診療所でも予防接種ができます！

ワクチン名	種類	接種年齢								
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	
B型肝炎	定期	①-② →	← ③ →	0歳のうちに3回接種が必要。3回目は2回目から4-5カ月の間隔をあけて受けます。						
ロタウイルス (1価のみ)	任意	①-② →	診療所では1価のみ接種が可能。遅くとも生後14週6日までに接種を開始しましょう。							
ヒブ	定期	①-②-③ →	← ④ →							
小児用肺炎球菌	定期	①-②-③ →	← ④ →	1歳の誕生日がきたら、ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・麻しん風しん混合・みずぼうそう・おたふくかぜの6本を同時接種で受けることもできます。						
四種混合	定期	①-②-③ →	← ④ →							
BCG	定期	① →								
麻しん風しん混合	定期		① →	2回目は年長の4~6月がおすすめ。				② →		
みずぼうそう	定期		① →	← ② →						
おたふくかぜ	任意		① →							
日本脳炎	定期			標準的には3歳からの接種となります。			①-②-③ →			
インフルエンザ	任意			生後6ヵ月から接種できます。毎年10~11月ごろに接種しましょう。						

町立金山診療所 ☎52-2915

▼診療科目 内科・外科・小児科  
▼受付時間 【平日】 8:30~11:30  
13:30~16:00  
【夕診】 17:00~19:00 (第5を除く毎水曜)

※土・日・祝日は、応援医師による急患の受付を行っております。医師不在の場合もございますが、あらかじめ電話でご確認のうえ来所ください。なお、夜間は医師不在のため受付できません。



①風邪のお薬



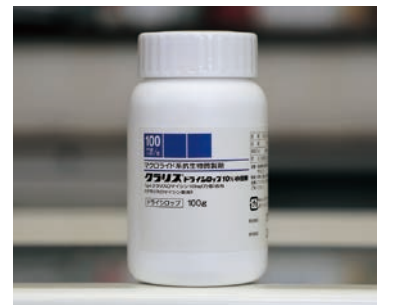
痰の切れを良くするカルボシステインシロップや痛みを和らげるカロナールシロップなど、風邪の諸症状には各シロップ剤で対応できます。

②皮膚のお薬



血行を良くして種々の皮膚症状を改善するピーソフテンローション。その他ステロイドホルモン剤など、各種軟膏剤を取り扱っています。

③感染症のお薬



肺炎などの二次感染の予防などに効果があるクラリスドライシロップ。アレルギーの有無や症状の程度に合わせて、他のタイプもご用意しています。

お子様にとっては飲みやすい薬であることが重要  
適正な服薬ができるよう様々な形状を取り扱っています



薬剤師 安食 俊輔さん (金山調剤薬局)

医師の処方せんに基づいて調剤する薬局の多くは、小児用のお薬を常時準備しています。風邪・胃腸炎・皮膚や目の疾患・感染症など、お子様の症状は様々。一次診療で多く処方されるお薬は十分な種類を取り扱っています。

また、お子様にとっては、飲みやすい薬かどうかも重要です。お子様がスムーズにお薬を飲めるようにドライシロップや粉末など、様々な形状のお薬を取り扱うようにしています。お子様が薬をいやる理由として大きな割合を占めるのが、「その味」。最近では先発のものより、味やにおいが飲みやすく改善されたジェネリック医薬品も登場しています。

診療所の医師は、患者さんの体重をもとに、処方する薬の量を判断しています。お子様に合った適正な処方となるように、日々の診療にあたっております。